



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,425	△2.7	1,948	23.6	1,983	65.0	1,336	65.1
29年3月期第2四半期	19,971	△2.0	1,576	3.8	1,202	△19.5	809	△19.8

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,783百万円 (152.1%) 29年3月期第2四半期 707百万円 (△20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	72.85	—
29年3月期第2四半期	44.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	47,121	36,734	75.6
29年3月期	44,830	35,735	77.2

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 35,606百万円 29年3月期 34,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	26.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	2.6	3,600	4.5	3,500	12.1	2,200	13.2	119.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	23,513,701 株	29年3月期	23,513,701 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	5,168,348 株	29年3月期	5,168,185 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	18,345,438 株	29年3月期2Q	18,345,536 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続き、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で海外は、米国の政策運営の影響、新興国経済の減速懸念、近隣諸国との地政学リスクの高まり等、日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、根強い節約志向の継続により企業を取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループは、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、不採算製品の見直し等により、194億25百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。営業利益は、原材料価格の低減等により19億48百万円（前年同四半期比23.6%増）となりました。経常利益は、為替差損の計上が前年同四半期より減少したこと等により19億83百万円（前年同四半期比65.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、13億36百万円（前年同四半期比65.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場の医療用途が堅調に推移し、欧州市場の医療用途及びサプリメント用途も増加いたしました。米国市場のサプリメント用途が減少いたしました結果、売上高は、前年を下回りました。

カテキンは、欧米市場及びアジア市場でのサプリメント用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

ミネラル製剤は、アジア市場は減少いたしました。国内市場及び欧州市場が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内市場のサプリメント用途及び化粧品用途、米国市場のサプリメント用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

ビタミン製剤は、国内市場の飲料用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、35億32百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は、7億1百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は国内市場及び海外市場が増加いたしました。一般食品用途及び飲料用途が国内市場で減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、42億92百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は、7億69百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、ハム・ソーセージ用途の粉末卵が大幅に減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内市場及び中国市場の即席めん用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

フルーツ加工品は、冷菓用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、医療用途は減少いたしました。惣菜用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、115億22百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は、4億62百万円（前年同四半期比49.1%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、77百万円（前年同四半期比23.7%減）、営業利益は、14百万円（前年同四半期比500.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して22億90百万円増加して、471億21百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加11億46百万円、商品及び製品の増加3億74百万円、建物及び構築物の増加2億55百万円、土地の増加7億33百万円、投資有価証券の増加4億45百万円、現金及び預金の減少2億89百万円、原材料及び貯蔵品の減少3億22百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して12億92百万円増加して103億86百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加13億45百万円、賞与引当金の増加1億91百万円、固定負債のその他の増加1億21百万円、未払法人税等の減少1億25百万円、流動負債のその他の減少2億51百万円です。

純資産は前連結会計年度末に比較して9億98百万円増加して367億34百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益13億36百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加2億80百万円、配当金の支払による減少7億34百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.2%から75.6%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,270,940	7,981,725
受取手形及び売掛金	10,359,189	11,506,005
商品及び製品	2,962,568	3,337,360
仕掛品	389,635	420,676
原材料及び貯蔵品	1,798,224	1,475,484
その他	1,042,257	956,658
貸倒引当金	△12,005	△20,789
流動資産合計	24,810,810	25,657,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,818,480	5,073,500
土地	6,038,562	6,772,468
その他(純額)	2,386,134	2,389,083
有形固定資産合計	13,243,177	14,235,053
無形固定資産		
のれん	28,863	20,736
その他	201,132	202,474
無形固定資産合計	229,996	223,210
投資その他の資産		
投資有価証券	4,332,863	4,778,736
その他	2,230,420	2,239,892
貸倒引当金	△16,950	△12,950
投資その他の資産合計	6,546,333	7,005,679
固定資産合計	20,019,507	21,463,943
資産合計	44,830,318	47,121,062

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,302,282	6,647,726
未払法人税等	690,436	564,593
賞与引当金	238,236	429,434
その他	1,635,239	1,383,813
流動負債合計	7,866,194	9,025,567
固定負債		
退職給付に係る負債	218,389	216,830
役員退職慰労引当金	386,838	399,829
その他	622,926	744,430
固定負債合計	1,228,154	1,361,089
負債合計	9,094,348	10,386,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	22,045,797	22,648,003
自己株式	△4,612,572	△4,612,771
株主資本合計	33,082,521	33,684,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,481,176	1,761,750
繰延ヘッジ損益	9,230	21,741
為替換算調整勘定	104,432	182,104
退職給付に係る調整累計額	△52,170	△43,788
その他の包括利益累計額合計	1,542,669	1,921,809
非支配株主持分	1,110,778	1,128,067
純資産合計	35,735,969	36,734,405
負債純資産合計	44,830,318	47,121,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,971,915	19,425,450
売上原価	15,533,517	14,413,091
売上総利益	4,438,397	5,012,359
販売費及び一般管理費	2,861,866	3,064,293
営業利益	1,576,531	1,948,066
営業外収益		
受取利息	19,292	17,516
受取配当金	27,370	29,474
持分法による投資利益	-	23,839
その他	25,584	51,223
営業外収益合計	72,247	122,053
営業外費用		
支払利息	9,026	4,813
貸与資産減価償却費	3,168	4,257
為替差損	414,792	5,840
持分法による投資損失	13,998	-
支払補償費	-	51,960
その他	5,503	19,655
営業外費用合計	446,488	86,526
経常利益	1,202,289	1,983,593
特別損失		
固定資産除売却損	14,007	10,859
投資有価証券評価損	-	1,000
特別損失合計	14,007	11,859
税金等調整前四半期純利益	1,188,281	1,971,733
法人税等	330,405	584,632
四半期純利益	857,876	1,387,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,559	50,700
親会社株主に帰属する四半期純利益	809,316	1,336,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	857,876	1,387,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	250,084	277,847
為替換算調整勘定	△379,504	89,791
退職給付に係る調整額	6,933	8,382
持分法適用会社に対する持分相当額	△28,199	19,931
その他の包括利益合計	△150,686	395,952
四半期包括利益	707,189	1,783,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775,486	1,715,539
非支配株主に係る四半期包括利益	△68,296	67,513

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,395,242	4,260,368	12,214,841	19,870,452	101,463	19,971,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,395,242	4,260,368	12,214,841	19,870,452	101,463	19,971,915
セグメント利益	608,549	655,290	310,267	1,574,106	2,424	1,576,531

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,532,375	4,292,937	11,522,715	19,348,028	77,422	19,425,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,532,375	4,292,937	11,522,715	19,348,028	77,422	19,425,450
セグメント利益	701,246	769,622	462,645	1,933,514	14,552	1,948,066

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの組替について)

第1四半期連結会計期間から「インターフェイスソリューション事業」に含まれていた一部製品につきましては、事業部製品の再編により、天然物としての特性を活かした販売戦略にするため、「アグリフード事業」に含めて記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。